

「青山語文」投稿規程

- 一、日本文学会の会員（甲会員・乙会員）は本誌に投稿することができる。
- 一、原稿の長さは四〇〇字詰め原稿用紙三〇枚程度とし、別に要旨（三枚程度）を添えること。
- 一、原稿と要旨は、それぞれ三部提出すること。
- 一、原稿をパソコンで打つ場合は、たて二八字詰め、文字の大きさは一二ポイント以上とし（末尾の注の文字も同じ）、行間は一字分以上とること。旧字体・異体字もJISの第一水準・第二水準の範囲なら問題なく使用できる。原稿提出の際には、電子データ（USBメモリー・CDなど）を原稿に添えること。
- 一、注の通し番号は、特別な理由のある場合を除き、アラビア数字の上下に括弧を付した形式に統一すること。
- 一、複雑な表は表作成機能などで浄書したものを提出すること。
- 一、投稿希望者は、毎年六月末日までに論文題目を届け出、九月末日までに原稿および英文題目を提出すること。
- 一、採否は日本文学会編集委員会が決定する。
- 一、執筆者には本誌二部および抜刷り三〇部を進呈する（三〇部以上の抜刷りを必要とする場合は実費負担）。

青山学院大学日本文学会

青山語文 第四十八号

二〇一八年三月二日 印刷
二〇一八年三月九日 発行

〒一五〇一〇〇〇二

編集・東京都渋谷区渋谷四一四一二五

発行所 青山学院大学日本文学会

代表者 篠原進

印刷所 東京都杉並区和田一十四一十三

共立印刷株式会社